

チーム間に新しい流れを創る

Design Brain Mapping

デザインブレインマッピング (DBM)

よりよいビジネスモデルや商品企画に向けて
組織の知恵を結集するリモートワークショップを体験しよう

こういう方々にオススメです!

以下を是非やりたいと思っている企業の
経営層・中堅・若手、あるいは
事業部・技術開発・顧客接点部署の方々

- ✓ ビジネスモデルを構築したい
- ✓ 商品企画力を向上したい
- ✓ 顧客起点へ改革したい
- ✓ 社内、特に若手のモチベーションを上げたい etc.



期待される効果

組織内のタテ連携、ヨコ連携
若手や顧客接点部署から知見活用の仕掛け
経営層の問題意識共有と現場のモチベーションの向上
新規案件への構想力 × 具現化力 × 推進力の向上

定員 20名

令和2年
10/28 水
13:00 ~ 17:00

第1回 ワークショップ

Step Up!

令和2年
11/4 水
13:30 ~ 17:00

第2回 ワークショップ

令和元年
11/11 水
13:30 ~ 17:00

第3回 ワークショップ

【場所】 リモート開催

(連絡先) (地独) 岩手県工業技術センター 産業デザイン部
TEL : 019-635-1115

【講師】 国立研究開発法人産業技術総合研究所

エレクトロニクス・製造領域製造技術研究部門
招へい研究員 手塚 明 氏

■デザインブレインマッピング (DBM) のワークショップを、全3回にわたって、ウェブ会議システム (Zoomミーティング) を用いたりリモート環境で開催します。

■「経営層・事業決定層」、「中堅又は技術系部署」、「若手又は顧客接点部署」のそれぞれのカテゴリーにおいて4人ずつのチームを構成し、DBMを用いて「個人」-「チーム」-「全体」のワークを行います。

■各回のワークショップの前には個人で事前ワークに取り組みます。

【主催】 国立研究開発法人産業技術総合研究所東北センター、地方独立行政法人岩手県工業技術センター 【後援】 経済産業省東北経済産業局 (予定)

参加申込

①貴社名、②電話番号 (連絡先)、③各参加者の氏名、所属部署、職名、Eメールアドレス、希望する参加カテゴリーを明記の上、Eメール (送信先: CD0002@pref.iwate.jp) でお申し込みください。
※参加カテゴリーは「経営層・事業決定層」、「中堅又は技術系部署」、「若手又は顧客接点部署」のいずれかになります。
※Eメールの件名は、「EBISワークショップ参加申込」としてください。
申込期限: 令和2年10月16日 (金) ※定員に達した時点で受付を終了します。

お問合せ

地方独立行政法人岩手県工業技術センター
産業デザイン部 (担当: 高橋)
TEL: 019-635-1115 FAX: 019-635-0311
Email: CD0002@pref.iwate.jp
※メールでの問い合わせの際の件名は、「EBISワークショップに関する問い合わせ」としてください。

Design Brain Mapping

デザインブレインマッピング (DBM)

企業では、よりよいビジネスモデルや新たな商品企画の創出が常に求められます。また、コロナ禍でのリモートワークから派生して、DX (digital transformation : デジタル化変革) や IoT (Internet of Things : モノのインターネット)、AI (artificial intelligence : 人工知能) の活用への機運も高まっています。しかし、DX や IoT、AI は単なるツールであり、それらの情報を活かせるかどうかは組織力、つまり組織全体の知恵や意見を結集できているかどうかによって左右されるでしょう。

商品企画やビジネスモデルの議論に顧客接点部署の社員やこれからの企業を背負う若手が入っていないというのは、よく見かけるケースです。組織内外のタテ (ライン) 連携、ヨコ (関連部署) 連携が課題という企業も少なくありません。これは単なるコミュニケーションの課題に留まらず、組織全員の意見や知恵を活用し切れていない、化学反応を起こせていない、商品企画やビジネスモデル等が他人事で自分事になっていない、モチベーションが上がらない、という重大な課題にもつながります。



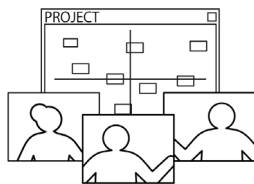
ここでは、外から得たデータや情報に振り回されず、企業内の人的・知的リソースを効果的に活用する方法として、デザインブレインマッピングに基づくリモートワークショップを体験する機会を設けました。技術コンサルティングによる企業支援実績のある方法です。この機会にぜひご参加ください。

ワークショップの流れ

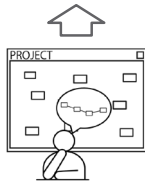
よりよいビジネスモデルや商品企画に向けて
組織の知恵を結集する方法をチームで議論する：

問題意識のセンシング ⇒ 阻害要因の炙り出し ⇒ 因果関係推論で原因の気付き ⇒ 周りを巻き込む駆動目的 ⇒ 実現のためのジャーニーマップ

第1週

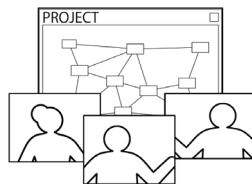


お互いの違いから why の共有
問題意識のセンシング手法
阻害要因・環境因子の把握

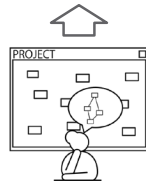


事前宿題による個人ワーク

第2週

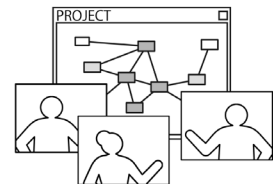


阻害要因の原因分析
因果関係推論のノウハウ
顧客起点への意識改革手法

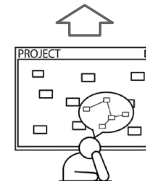


事前宿題による個人ワーク

第3週



駆動目的の探索方法
納得感・総意形成
ジャーニーマップ



事前宿題による個人ワーク

参加要件 ※不明な点をご相談ください。

【準備いただくもの】

- ・1人1台のリモートワークに対応したWindowsパソコン (ウェブカメラ、インターネット接続環境など)
- ・Zoomミーティング (無料版で可)
- ・Google Drive (Googleアカウントを登録)
- ・メールアドレス (普段使用しているもので可)
- ・図書「デザインブレインマッピング (丸善出版)」 ISBN : 978-4-621-30362-7
※ワークショップの際は本図書を参照いただきながら効率よく話を進めていきます。(講師は本図書の主執筆者ですが、印税は辞退しております。)
- ・DBMソフトウェア (トライアル版)
※参加申込をいただいた後、当センターより配布いたします。
- ・Microsoft PowerPoint

【参加にあたってのお願い】

- (1) 可能な限り、「経営層・事業決定層」、「中堅又は技術系部署」、「若手又は顧客接点部署」の各カテゴリーに1名以上の参加をお願いします。1企業から1人での参加も可能ですが、申込の前に担当までご相談ください。
 - (2) 全3回に連続参加をお願いします。(代理出席可)
 - (3) ファシリテータは参加者の表情を見ながらワークショップを進行しますので、参加中は顔出しをお願いします。
- ※DBMワークショップの未経験の方へは、DBMの使用方法についてご説明いたします。
※参加申込をいただいた後、実施環境確認のため、接続テストを行います。